

私立併願校は本番への前哨戦

2月10日～11日に実施される国私立高校入試。附属池田高校をはじめとして難関高校志望の専願者にとっては、これまでの学習の成果を最大限発揮する時です。準備万端、**合格するだけの学力は備えての挑戦**です。自信を持って受験してください。15日は公立推薦入試。特に学力検査の点数がいちばん大切です。面接では「**ゆっくり・はっきり・大きく**」自分にしかない個性を存分に伝えきるようにしてください。また、私立高校受験が併願の人は、公立高校受験の前哨戦です。人生初の入試は独特の緊張感が漂いますが、しっかり勉強して来た人は焦る必要が全くありません。「**受験番号・時間・自信の【3J】**」さえしっかり意識できていれば大丈夫です。結果については志望コース通りの合格ではなくても、言い訳は考えずに「**現段階での実力**」と認識すべし。最後の最後に幸運と実力は残しておきましょう。〔野垣勝彦〕

1、2月のおもなスケジュール

1/27	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 入試直前中3保護者会
2/3	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
4	日	入試直前GARI BEN
10	土	国私立入試日
11	日	入試直前GARI BEN
12	月	振替休日【授業あり】
15	木	公立推薦・特色入試日
17	土	中3入試突破ゼミ【月3回】 学年末直前ゼミ【予定】
20	火	公立推薦・特色合格発表
24	土	中3入試突破ゼミ【月3回】
25	日	入試直前GARI BEN
26	月	2017年度授業終了
27~		公立直前ゼミ

大学選びとは何だろう

センター試験も終わり、国公立大学の出願や私立大学の入試が始まっています。高校生たちも学校での進路面談を受けて受験校を決定していています。そこで気になるのが大学進学における『**国公立至上主義**』です。

国立大学が法人化されて久しく、すでに研究内容や設備の面では大きな差ができています。もはや国立に行けば安泰な状況ではなくなっています。政府も「どこへ行くか」ではなく「何を学ぶか」で進路を選択する方向に舵を切っています。このような現状にもかかわらず、未だに国公立>私立の枠にとらわれている方が多いのが非常に嘆かわしいです。

「何を学ぶか」を真剣に考え、高校卒業後の進路を検討していきましょう。〔金子祐太〕



絶対合格感動合宿の1シーン。それぞれの願いを記した風船を一齐にリリースしました。

今月の「自習王」決定! (12月)

★中3生の部
岡田 龍人くん 164.0 時間
★高3生の部
小川 侑真くん 208.6 時間

本部事務局より

2月分学費の振替日は1/29(月)となっております。3/5(月)より新年度の授業がスタートいたします。それに伴い3月分学費とあわせて新年度教材費をご請求させていただきます。詳細につきましては後日、お子様を通じてご案内を配布させていただきますので、今しばらくお待ちください。ご不明な点等ございましたら、本部事務局(TEL:079-563-0300)までお問い合わせください。

「アグロエコロジー」という考え方

今回は、農業についての話です。ある学者の論文に、「リンゴの葉を食い荒らす害虫は、葉を食べるので顔つきは優しく、その害虫を食べる益虫はガラの悪い顔つきをしている」という一節があって、思わず吹き出しました。

コーヒー栽培地として有名な中南米やアフリカの国々には、コーヒーの木の実を食いつくす甲虫の「**コーヒーノミキクイムシ**」という害虫が多くいて、被害の多い年には、全世界のコーヒー豆が80%も減少したそうです。農業の歴史は、このような害虫との闘いだったのですね。

コーヒーの実を襲う厄介者に、「**コナカイガラムシ**」という虫もいるそうですが、実はこの虫がいると、さらに恐ろしい、コーヒー豆を全滅に追い込む「**コーヒーさび菌**」という病原菌が繁殖しないので、農家の人々はコナカイガラムシをあえて駆除せずに、多少の被害を考慮に入れた上で、収益を生み出す工夫を行っているようです。少しの被害を計算に入れて、大きな被害を防ぐ。これが『**アグロエコロジー**』という、農業の新しい考え方だそうです。

テストであまり点数が取れない生徒の特徴に、「すべての問題に手を出してしまう」という共通点があります。そのおかげで時間に追われて、できる問題までできなくなってしまうのは本当に愚かなこと。時には思い切って、「できない問題は捨てる」勇気も、受験生にとっては必要なのかもしれません。〔北村昌弘〕



北村の独り言…
坐骨神経痛のため、只今リハビリ中。
冬期は杖を突いての、痛々しい授業。
完治までもう少し。がんばります!
中内整形外科。私のオススメです!

編集 後記

今シーズンの冬は時期はじめてから厳しい寒さがありましたが、1月に入ってますます冷えてきたように感じます。テレビの気象情報では、聞くたびに「今季最大の寒波」や「今シーズン一番の冷え込み」といった言葉が出てきます。この状況は日本だけでなく、オーストラリアでは最高気温47℃を記録し、アメリカでは記録的大寒波の到来で動物も対応できていないとか…。地球温暖化など人為的な要因による環境や気象の変化が今後どうなっていくのか、不安を感じずにはいられないニュースに余計寒さが増す気がします。